

平成28年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所管事項調査

1 犯罪情勢について

- ・ **資料1** 犯罪情勢（平成28年10月末） 1頁

2 犯罪抑止対策について

- ・ **資料2** 犯罪抑止対策の推進 2頁

3 交通事故情勢と抑止対策等について

- ・ **資料3** 交通事故情勢と抑止対策等 3頁

平成28年12月

警察本部

犯罪情勢（平成28年10月末）

1 刑法犯及び重要犯罪・重要窃盗犯

	認知件数		検挙件数		検挙人員		検挙率	
	(件)	前年同期比	(件)	前年同期比	(人)	前年同期比	(%)	前年同期比
刑法犯	11,662	-1,225	3,712	-426	1,727	-182	31.8	-0.3
重要犯罪	82	+9	78	+18	54	+5	95.1	+12.9
殺人	5	-2	3	-3	3	-2	60.0	-25.7
強盗	21	+7	16	+4	16	+1	76.2	-9.5
放火	2	-3	2	-4	2	-3	100.0	-20.0
強姦	12	+1	14	+2	10	+1	116.7	+7.6
略取誘拐・人身売買	2	+2	2	+2	2	+2	100.0	+100.0
強制わいせつ	40	+4	41	+17	21	+6	102.5	+35.8
重要窃盗犯	1,602	-163	826	-265	124	+17	51.6	-10.2
侵入盗	1,244	-256	783	-160	102	+12	62.9	±0
自動車盗	332	+91	37	-102	18	+3	11.1	-46.6
ひったくり	17	+2	5	-2	3	+1	29.4	-17.3
すり	9	±0	1	-1	1	+1	11.1	-11.1

- 刑法犯の認知件数は、前年同期と比べ9.5%減少
- 重要犯罪の検挙率は、前年同期と比べ12.9ポイント上昇
- 重要窃盗犯の検挙率は、前年同期と比べ10.2ポイント下降

2 特殊詐欺

	認知件数		被害額		検挙件数		検挙人員	
	(件)	前年同期比	約(万円)	前年同期比	(件)	前年同期比	(人)	前年同期比
総数(額)	129	+24	44,620	-7,550	17	-5	17	+3
振り込め詐欺	114	+32	29,380	+1,440	16	-4	16	+5
振り込め詐欺以外	15	-8	15,240	-8,990	1	-1	1	-2

- 認知件数(総数)は、前年同期と比べ22.9%増加
- 被害額(総額)は、前年同期と比べ14.5%減少

3 暴力団犯罪

	検挙件数		検挙人員		罪種別人員(主なもの)
	(件)	前年同期比	(人)	前年同期比	
総数	169	-372	103	-38	傷害:27 威力業務妨害:9
刑法犯	112	-347	77	-15	覚醒剤事犯:22 詐欺:8
特別法犯	57	-25	26	-23	窃盗:16 恐喝:5

- 検挙件数は、前年同期と比べ68.8%減少
- ※ 主な検挙:窃盗52件(前年同期比-286件)、覚醒剤事犯47件(同-8件)
- 検挙人員は、前年同期と比べ27.0%減少

交通事故情勢と抑止対策等

1 交通事故情勢

(1) 交通事故発生状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28.11	前年同期比
人身事故件数	10,420	10,155	9,804	8,100	7,169	5,497	-1,015
死亡事故件数	89	93	90	109	86	93	+20
死者数	95	95	94	112	87	95	+21
負傷者数	13,813	13,287	12,885	10,717	9,517	7,407	-1,284

(2) 高齢者の交通事故発生状況

ア 高齢運転者による交通事故発生状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28.11	前年同期比
人身事故件数	1,618	1,642	1,702	1,416	1,331	1,023	-182
死亡事故件数	20	28	20	20	28	21	-2
死者数	23	29	20	20	28	21	-2
負傷者数	2,142	2,072	2,151	1,779	1,677	1,295	-238

イ 歩行中高齢者の交通事故発生状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28.11	前年同期比
負傷者数	693	660	733	578	549	419	-65
うち高齢者	223	214	251	208	196	163	+1
死者数	28	31	33	36	28	35	+12
うち高齢者	19	22	23	20	19	25	+9

2 高齢者が関係する交通死亡事故等抑止対策

(1) 高齢運転者対策の推進

ア 道路交通法の一部改正

臨時認知機能検査・臨時高齢者講習の新設等

イ 高齢者の移動手段の確保に向けた環境整備に係る取組の推進

自治体等と連携した地域公共交通網の形成

ウ 複数回事故当事者に対する個別指導

戸別訪問による個別指導の実施

(2) 歩行中の高齢者に対する交通事故防止対策

ア 交通安全教育等の推進

横断方法、反射材の重要性を訴える交通安全教育の実施

イ 薄暮時間帯・夜間における死亡事故等抑止対策の推進

反射材の貼付活動等の実施



〈高齢者宅訪問活動〉



〈反射材貼付活動〉

3 交通安全施設の整備について

(1) 交通安全施設の現状

国及び地方の厳しい財政状況を受け、全国的に、耐用年数を超過した信号制御機の更新が滞るなど、交通安全施設の老朽化が深刻な問題

加えて、本県では、塗り替えが必要な横断歩道等の道路標示が年々増加、適切な維持管理が喫緊の課題

ア 信号制御機（整備数3,209基、うち要更新数734基）・信号柱（整備数15,907本、うち更新基準超過数1,540本）

- 信号制御機の更新数を毎年5基（平成28年度当初予算ベース）とした場合、10年後の更新基準超過率は70.6%（平成28年度の超過率は22.7%）

※ 三重県内では、平成26年度以降、滅灯等の障害が58件発生

- 信号柱については、建替数を毎年40本（平成28年度当初予算ベース）とした場合、10年後の更新基準超過率は23.0%（平成28年度は9.4%）

※ 全国では、平成27年中、倒壊事案が8件発生（うち人的被害有2件）。県内では、頭頂部が崩落



制御機の故障による灯火異常（富山県）



腐食した制御機ボックス（御浜町）



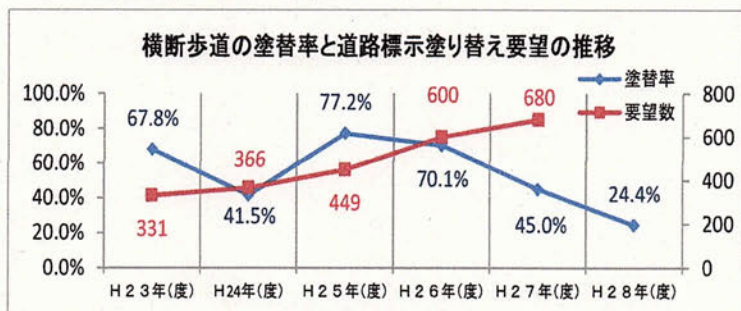
長寿命化補修をした信号柱頭頂部の劣化



腐食・崩落防止のための応急措置状況
（四日市市塩浜本町交差点（H21年補修、H28年7月崩落））

イ 横断歩道（整備数17,746本、要塗替数1,715本）

- 摩耗した横断歩道の塗替率が年々低下、加えて、県民からの道路標示の塗り替え要望数が年々増加



摩耗により機能が著しく低下した横断歩道（県庁西）

(2) 交通安全施設の着実な整備に向けた今後の取組

ア インフラ老朽化対策の推進

信号制御機等の更新と必要性が低減した交通安全施設の撤去に向けた合意形成の促進

イ 緊急性・必要性を勘案した優先度判断

更新、塗り替え等に当たっては、緊急性・必要性を検討し、優先度の高いものから対応

ウ 道路管理者に対する働き掛け

道路管理者によるカラー舗装等、安全対策の充実を要請